

介護現場におけるパターンナリズム

蔵内 将之

パターナリズムのイメージ



パターナリズム

- 父権主義的な「自己決定」への介入（あるいは配慮）
- 法的な権利の規制もパターナリズムに含まれる
 - ex 成年後見制度
 - NY市ソーダ規制
 - 肥満税 (fat tax)

自己紹介

- 1982年生まれ 高知県出身
- 明治大学法学研究科修了
- 大学院では法哲学を専攻
- 大学院卒業後

株式会社「かいごデザイン」入社。
介護の世界へ

- キャリア介護研究会

介護現場におけるパートナーリズム

彼女は尿意を覚えトイレに行きたいと思う。だが、あいにく介助者の手は空いていない。「もう少し待って頂ければ介助しますよ」と言われる。頻尿気味の彼女にとってはそれが日常だ。彼女は苛立ち、こう言い放つ。「いいわよ、一人でトイレまで行くから放っておいて」と。そして、「危ないですから」という介助者の言葉を聞き彼女は黙って立ち上がろうとする。

あなたならどうしますか？

介護分野での自己決定の尊重

- 適切な情報（選択肢とその結果の予測）が提示され、それを踏まえて本人が決定すること。
- 安全配慮義務

安全を優先せざるえない

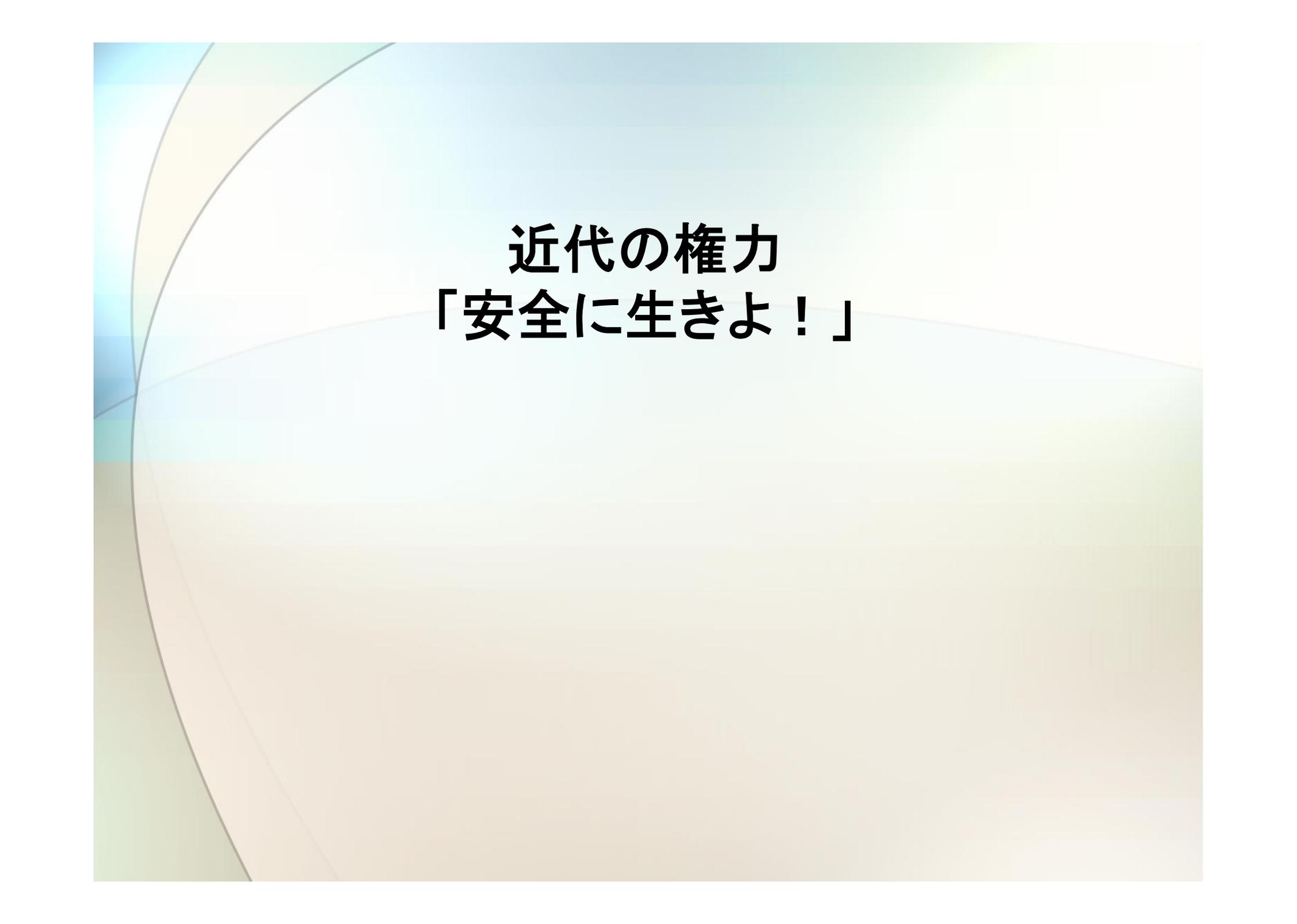
- 介護者が安全配慮義務を免れる場合のハードルの高さ
- 危険があることの説得を尽くしたと言えなければならない
- 後から説得を尽くしたことを立証することのむずかしさ
- 訴訟などになるリスクの高さから、介護をする側としては、歩行を静止する方向に傾きがち

従来のパターンリズム(介入の側面)

安全、健康、セキュリティー

- 肥満に対する法的な規制(アメリカでの大きなサイズの炭酸飲料の販売の禁止)
- 監視カメラ
- 電車のホーム上の冊
 -
 -
- 高齢者の住まいにおける安全確保。





**近代の権力
「安全に生きよ！」**

「生-権力」

近代の権力は殺す権力ではなく、生かす権力。

自己決定と危険—自由とリスク

- 自由とリスクは不可分に結びついている。
- 危険やリスクを取り除くこと、安全であることには無論価値がある。しかし、あまりにそれが潔癖でありすぎるならば、自由もダメージを負ってしまう。

「パターナリズム」という言葉の可能性 介入と配慮

「介入」と「配慮」という2つの側面が必ず同
時に話題になる。



パターンリズム

介入

安全の確保策

-
-
-

-
-
-

配慮

介護を受ける人の為に
なっているか？
何を望んでいるのか？
など

-
-
-

-
-
-

「安全」or「自己決定」ではなく、「安全」and「自己決定」を真に実現するために「パターンリズム」という言葉を使って考えてみてください

ご清聴ありがとうございました。

